

2026年10月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月12日

上場会社名 株式会社北王GROUP 上場取引所 東
 コード番号 555A URL http://www.hrg.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒田 英則
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)古瀬 伸幸 (TEL) 03(3913)8400
 中間発行情報提出予定日 2026年7月29日 配当支払開始予定日 -
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期中間期の連結業績 (2025年11月1日～2026年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	3,411	-	120	-	115	-	71	-
2025年10月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 中間包括利益 2026年10月中間期 71百万円(-%) 2025年10月期中間期 -百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	364.08	-
2025年10月期中間期	-	-

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2026年10月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2025年10月期中間期の数値及び2026年10月期中間期の対前年同期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年10月期中間期	3,210	249	7.8	1,277.26
2025年10月期	3,260	178	5.5	914.12

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 249百万円 2025年10月期 178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	0.00	0.00	0.00
2026年10月期	0.00		
2026年10月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想 (2025年11月1日～2026年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,832	4.2	100	93.6	96	260.7	67	448.4	343.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用及び簡便な会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年10月期中間期	195,244株	2025年10月期	195,244株
2026年10月期中間期	一株	2025年10月期	一株
2026年10月期中間期	195,244株	2025年10月期中間期	195,244株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	2
(3) キャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間期経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年11月1日～2026年4月30日）における我が国の経済は、インバウンド需要の増加や大企業を中心とした大幅な賃金改定等により、景気の緩やかな回復基調が続いております。一方で、円安の恒常化や慢性的な人手不足等による継続的な物価上昇やエネルギーコストの高止まり、米国輸入関税の引き上げによる経済情勢の懸念等、依然として先行きは不透明な状況です。

当社グループが関わる物流業界においては、トラックドライバーの時間外労働時間の規制等、いわゆる物流の2024年問題に伴う労働時間の見直しや物価上昇に伴う賃金ベースアップが物流コストに多大なる影響を与えることが想定されており、荷主や取引先と協力しながら、作業の効率化や業務の見直し、適正な運賃への価格転嫁などの対応が求められております。また、資源エネルギー価格の高止まりや、米国の新政権における政策動向、中東地域をめぐる情勢などにより、引き続き燃料単価の高騰も懸念されております。

このような状況のなか、当社グループは、当社の100%子会社である「北王流通(株)」「北王デリバリー(株)」「(株)北王フードベース」を中核としたグループ体制の整備を進め、各事業会社機能の有機的な結合、サプライチェーン機能強化等、お客様の配送先増減に柔軟に対応しながら、1都9県に張り巡らせた食品共配ネットワークと、都心デポの拡張により、お客様の開拓を継続して参りました。第5期を最終年度とする中期経営計画を策定し、「安心をつなぐ食品流通イノベーター」であることを方針とし、人材・設備・ITへの投資を強化し、持続可能で高付加価値な物流基盤の構築を推進しております。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の連結経営成績は、都心デポ事業およびウェアハウス事業が好調に推移したことにより増収となり、売上高3,411,661千円、営業利益120,233千円、経常利益115,457千円、親会社株主に帰属する中間純利益71,084千円となりました。

(2) 財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ38,928千円増加し、1,219,100千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が67,115千円増加した一方、売掛金が33,358千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ88,627千円減少し、1,990,465千円となりました。この主な要因は、リース資産が54,484千円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ582千円減少し、699千円となりました。この主な要因は、社債発行費が582千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ50,280千円減少し、3,210,265千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ32,411千円増加し、1,321,650千円となりました。この主な要因は、買掛金が42,046千円減少した一方で、短期借入金が160,000千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ153,594千円減少し、1,639,236千円となりました。この主な要因は、長期借入金が84,700千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ121,182千円減少し、2,960,887千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ70,901千円増加し、249,377千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が71,084千円増加したものであることによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3%増加し、7.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、531,909千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は122,419千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益115,187千円、減価償却費118,945千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は35,620千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出26,628千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は19,683千円となりました。これは主に、短期借入れによる収入180,000千円、長期借入金の返済による支出103,878千円及びリース債務の返済による支出56,305千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年10月期の業績予想につきましては、売上高6,832百万円（前期比4.2%増）、営業利益100百万円（前期比93.6%増）、経常利益96百万円（前期比260.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益67百万円（前期比448.4%増）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後適切に対応していく方針であります。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	464,793	531,909
売掛金	670,878	637,520
その他	48,417	53,377
貸倒引当金	△3,919	△3,707
流動資産合計	1,180,171	1,219,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,100,914	1,060,932
機械装置及び運搬具（純額）	19,881	15,725
土地	152,243	152,243
リース資産	437,353	382,869
その他（純額）	52,918	46,830
有形固定資産合計	1,763,311	1,658,600
無形固定資産		
ソフトウェア	23,328	57,868
ソフトウェア仮勘定	73,587	55,006
のれん	10,322	7,225
その他	1,662	1,662
無形固定資産合計	108,902	121,763
投資その他の資産		
敷金	172,369	172,966
その他	34,509	37,133
投資その他の資産合計	206,878	210,100
固定資産合計	2,079,092	1,990,465
繰延資産		
社債発行費	1,281	699
繰延資産合計	1,281	699
資産合計	3,260,545	3,210,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中期連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	363,127	321,081
未払費用	282,511	278,462
リース債務	103,450	95,062
資産除去債務	418	—
賞与引当金	44,387	54,573
未払法人税等	27,127	50,673
短期借入金	50,000	210,000
1年内償還予定の社債	39,000	34,000
1年内返済予定の長期借入金	201,696	182,518
その他	177,520	95,278
流動負債合計	1,289,238	1,321,650
固定負債		
社債	14,500	—
長期借入金	936,212	851,512
退職給付に係る負債	64,845	69,723
リース債務	338,157	292,331
資産除去債務	410,768	413,325
繰延税金負債	12,973	2,970
その他	15,374	9,374
固定負債合計	1,792,830	1,639,236
負債合計	3,082,069	2,960,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	89,412	89,412
利益剰余金	55,402	126,487
株主資本合計	174,814	245,899
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	3,661	3,478
その他の包括利益累計額合計	3,661	3,478
純資産合計	178,475	249,377
負債純資産合計	3,260,545	3,210,265

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自2025年11月1日 至2026年4月30日)
売上高	3,411,661
売上原価	2,951,122
売上総利益	460,539
販売費及び一般管理費	340,306
営業利益	120,233
営業外収益	
受取利息及び配当金	149
保険金収入	2,550
受取保証金	3,140
雑収入	2,457
営業外収益合計	8,296
営業外費用	
支払利息	11,436
リース解約損	1,250
雑損失	385
営業外費用合計	13,071
経常利益	115,457
特別損失	
固定資産除却損	270
特別損失合計	270
税金等調整前中間純利益	115,187
法人税、住民税及び事業税	54,021
法人税等調整額	△9,918
法人税等合計	44,102
中間純利益	71,084
親会社株主に帰属する中間純利益	71,084

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自2025年11月1日 至2026年4月30日)
中間純利益	71,084
その他の包括利益	
退職給付に係る調整額	183
その他の包括利益合計	183
中間包括利益	71,267
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	71,267

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自2025年11月1日 至2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	115,187
減価償却費	118,945
のれん償却額	3,096
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△211
受取利息及び受取配当金	△149
支払利息	11,436
固定資産除却損	270
売上債権の増減額(△は増加)	33,358
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,678
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,185
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,877
社債発行費償却	582
未払費用の増減額(△は減少)	△4,049
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,738
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△82,711
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△6,000
その他	4,908
小計	163,310
利息及び配当金の受取額	149
利息の支払額	△9,344
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△31,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△10
有形固定資産の取得による支出	△6,727
無形固定資産の取得による支出	△26,628
敷金及び保証金の差入による支出	△597
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△1,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,620

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自2025年11月1日 至2026年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	180,000
短期借入金の返済による支出	△20,000
長期借入金の返済による支出	△103,878
社債の償還による支出	△19,500
リース債務の返済による支出	△56,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,683
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,115
現金及び現金同等物の期首残高	464,793
現金及び現金同等物の中間期末残高	531,909

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。